

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公開番号】特開2009-240315(P2009-240315A)

【公開日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-042

【出願番号】特願2009-138688(P2009-138688)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/10 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 Q 1/70 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 7/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/155 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/569 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 16/10

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 Q 1/70

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

C 1 2 N 7/00

C 0 7 K 14/155

A 6 1 K 39/21

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/569 H

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月8日(2010.1.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも4つの連続するアミノ酸のペプチドであって、その全配列が、図9に記載のgp41の免疫優性領域の配列内か、または1995年2月23日にCNCMに受託番号I-1542で寄託されたHIV-1 DURウイルスの変異体由来の、対応する免疫学的に同等の配列内に含まれ、前記の免疫学的に同等のgp41領域が、以下のコンセンサス配列：RL*ALET、QNQQ、LWGCおよ

びCYTSV（ここで*は任意のアミノ酸残基である）の幾つかを特異的に認識する抗体により認識される、ペプチド。

【請求項 2】

ペプチドLNLWGCRGKAICYTSVQWNETWG(18)の一部、および

a) 配列SVQWN(20)；または

b) QがK以外の異なるアミノ酸で置換された配列SVQWN

を含有するペプチド。

【請求項 3】

HIV-1レトロウイルスのOグループにより特異的に引き起こされる感染のin vitroでの診断方法であって、

HIV-1レトロウイルスのOグループに感染した後に産生される抗体を含有し得る生物学的試料を、

1995年2月23日にCNCMに受託番号I-1542で寄託されたHIV-1 DURウイルス由来のペプチドであって、少なくとも4つの連続するアミノ酸を含み、その全配列が、図9Bに記載のgp41の免疫優性領域の配列内か、または前記HIV-1 DURウイルスの変異体由来の、対応する免疫学的に同等の配列内に含まれるペプチドと、

抗原/抗体型の免疫学的複合体の形成を許容する適切な条件下で接触させる工程と；

前記複合体の存在を検出する工程により特徴付けられる診断方法。

【請求項 4】

請求項3に記載の、HIV-1レトロウイルスのOグループにより特異的に引き起こされる感染のin vitroでの診断方法であって、前記ペプチドが請求項1または2に記載されるものである診断方法。